



各園で相互理解を深める取組を実施しています。

- ・事業団の障害者施設では、園発行の広報誌の漢字にルビをふるなど配慮を行い、情報バリアフリーの推進に努めています。

- ・障害者施設「東村山福祉園」では、園内設備の案内に「ピクトグラム」を活用し、文字以外の視覚伝達により誰にでもわかりやすい空間づくりに努めるとともに、重度知的障害のある利用者とのコミュニケーションツールとしてマカトンサインを職員が学ぶための動画を作成し、普及を推進しています。

- ・障害者施設「立川療護園 はごろもの音」では、月に2回、近隣住民を対象にコミュニティカフェを開催している。イベントでは、過去に生きづらさや傷つきの経験を持つ方を「本」に見立て、その方の話を参加者が「読者」として聞く対話型の企画を実施しました。地域の「ひきこもり」「不登校」「孤独死」など、コミュニティのつながりの希薄化による課題に向き合い、共生社会の実現を目指す取組を続けています。



施設内の地域交流スペース「tsunagari」



地域の高校と連携した「子供食堂」

・ 障害者施設「希望の郷 東村山」では、重度の自閉症のある利用者による絵画展「キイロ展」を地域に公開し、近隣住民が絵画体験や作品グッズの購入を楽しめる場を提供しています。障害の有無に関わらず交流を促し、相互理解を深める取組として継続しています。



施設内にて絵画展「キイロ展」を実施



アートノベルティの販売

・ 事務局や障害施設ではヘルプマークのポスターを掲示し、普及啓発を行っています。

・ 障害施設では園祭を開催し、近隣にお住まいの皆様との交流を通じて園の利用者についての理解を広げ、障害のある人となない人が支え合う取組につなげています。

企業・団体情報

社会福祉法人東京都社会福祉事業団

住所：東京都新宿区大久保3丁目10-1 201

事業概要：障害施設及び児童養護施設の運営

URL：<https://www.jigyodan.org/>

